

# 会社案内 2022

MAKITA Corporate Profile 2022



[www.makita.co.jp](http://www.makita.co.jp)



## Live Green & Grow Strong

株式会社 マキタ

〒446-8502 愛知県安城市住吉町3丁目11番8号  
Tel.0566-98-1711(代表) Fax.0566-98-5580

# 「Strong Company」の実現を目指して 充電製品の総合サプライヤーへと進化していきます。

マキタは1915年の創業以来、現場主義を貫いてお客さまが求める製品・サービスの提供に尽力してきました。

107年の歴史を重ねた今もこの精神は変わっていません。ここまで事業活動を拡大することができたのは、世界中のお客さまをはじめ、取引先さまや関係する皆さまのご支援・ご協力のおかげです。

現在、マキタは充電製品を軸として、環境問題をはじめとした社会課題の解決を通じた成長を実現すべく、電動工具のみならず園芸用機器、清掃・アウトドア製品を含めた「充電製品の総合サプライヤー」への進化に取り組んでいます。

業界をリードするバッテリー充放電技術とモータ技術を活かし、ありとあらゆる製品で充電化(コードレス化・脱エンジン)を推進することで、お客さまの安全性・利便性・快適性の向上、使用時の排ガスゼロ・低騒音・低振動などにつなげていきます。また、サービス面でも進化を続けます。世界各地に築いている販売・サービス拠点網が当社の大きな強みであり、迅速かつ安定的な物流・修理といったサービス体制をさらに強化していくことで、世界各地の作業現場と地球環境への負荷低減・脱炭素に貢献していきます。

今後マキタが重点的に取り組んでいくのは環境問題への対応です。使用時に燃料を必要とせず、排ガスがゼロの充電式園芸用機器に、より一層注力していくことで環境負荷を低減していきます。また、ガソリンなどの燃料や電気の使用に伴う、自社の事業活動での温室効果ガス排出量を2040年度までに実質ゼロにする目標を掲げました。カーボンニュートラルの達成に向けて全社一丸となって取り組むとともに、皆さまの生活において、なくてはならない企業であり続けるよう努めてまいります。マキタは、いかなる経営環境のもとでも持続していくために、その事業対象をモータから電動工具に転換させたように、今後もさまざまな新しい挑戦に取り組んでまいります。当社が掲げる「社会と共に生きる経営」「お客さまを大切にす経営」「堅実かつ積極的な経営」「質実剛健の社風を大切に、一人一人の能力を活かす経営」を根幹として、企業活動を通じ持続可能な社会の実現に貢献し、当社の長期目標である「Strong Company」の実現を目指します。



取締役社長

後藤 宗利

## 長期目標

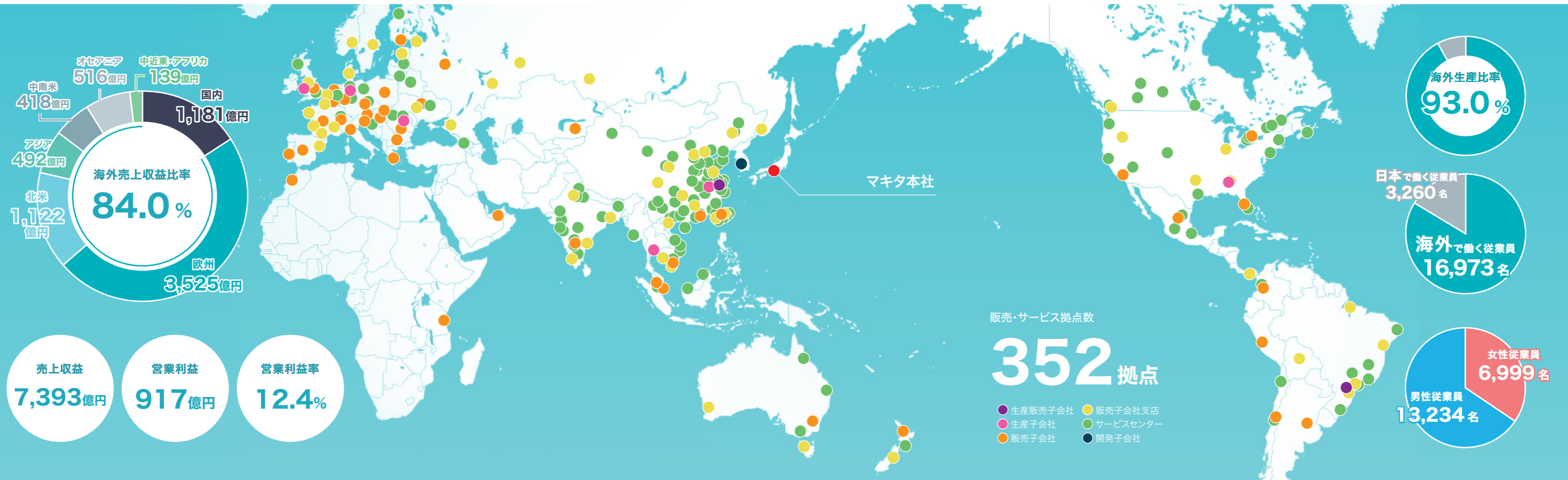
### Strong Company

人の暮らしと住まい作りに役立つ工具(充電式を中心とした電動工具・園芸用機器、エア工具など)のグローバルサプライヤーとして持続可能な社会の実現に貢献し、業界での確固たる地位を確保する。

## 経営姿勢／品質方針

1. 社会と共に生きる経営（法令・規則を順守し、倫理に従って行動し、反社会的勢力の介入を許さない会社）
2. お客さまを大切にす経営（マーケット指向の会社）
3. 堅実かつ積極的な経営（健全な収益体制のもと持続する会社）
4. 質実剛健の社風を大切に、一人一人の能力を活かす経営（喜びを感じる会社）

1915年(大正4年)、マキタはモータの販売修理会社として産声をあげました。その後国産初の携帯用電気カンナを発売以来、電動工具メーカーとしての地歩を固めてきました。現在は「充電製品の総合サプライヤー」へと進化を続けており、世界中に販売・サービス、生産ネットワークを展開しています。



(2022年3月31日現在)

<p><b>1915</b></p> <p><b>牧田電機製作所を創業</b> 名古屋にて個人経営で、電灯器具、モータ、変圧器の販売修理を開始。</p>	<p><b>1958</b></p> <p><b>電動工具メーカーへ転換</b> 独自製品の開発が重要課題に。国産第1号の携帯用電気カンナ(1000)を発売し、新たに電動工具メーカーとしての歩み始める。</p>	<p><b>1969</b></p> <p><b>充電式工具の誕生</b> 充電式工具第1号の電池ドリル(6500D)を発売。</p>	<p><b>1978</b></p> <p><b>ニッカド電池第1号の製品を発売</b> カートリッジ式のニッカド電池を使用した10mm電池ドリル(6010D)を発売し、これを契機に充電式工具の市場が急速に拡大した。</p>	<p><b>1991</b></p> <p><b>企業イメージの一新</b> 新しいマキタの創造に向けて、商号を株式会社マキタに変更し、シンボルマークや社名ロゴなども一新。</p>	<p><b>1997</b></p> <p><b>世界で初めてニッケル水素バッテリーを使用した製品を発売</b> ニッケル水素バッテリー工具第1号の12V充電式ドライバドリル(6213D)を発売。</p>	<p><b>2015</b></p> <p><b>創業100周年を迎える</b> 次の100年も存続する企業となるべく、新たな決意を胸にした。</p>	<p><b>2019</b></p> <p><b>Li-ion 40Vmaxシリーズを発売</b> 従来のバッテリーよりもハイパワー、長寿命、高耐久を実現した充電式工具シリーズを発売。また充電電を最適化するシステムを搭載するなど、さらなる技術革新を続けている。</p>
<p><b>1938</b></p> <p><b>法人組織 株式会社牧田電機製作所へ</b> 個人経営を株式会社に改組し、株式会社牧田電機製作所を設立。</p>	<p><b>1962</b></p> <p><b>社名変更と株式公開</b> 株式会社マキタ電機製作所に商号変更し、名古屋証券取引所市場第二部に上場。</p>	<p><b>1970</b></p> <p><b>世界戦略への第一歩</b> アメリカにて初の海外現地法人、マキタU.S.A.Inc.を設立。その後フランス、イギリス、オーストラリアなどにも進出し、「世界のマキタ」へと成長していった。</p>	<p><b>1985</b></p> <p><b>初の本格的海外現地生産</b> 1984年にアメリカにて生産子会社(マキタ・コーポレーション・オブ・アメリカ)を設立し、1985年から本格的な海外現地生産を開始。</p>	<p><b>1993</b></p> <p><b>グローバル企業へのさらなる邁進</b> 1993年に中国にて牧田(中国)有限公司を設立し、1995年から生産を開始。後に、生産拠点の中核となる。</p>	<p><b>マキタ環境元年</b> マキタ環境委員会を発足。マキタ地球環境憲章を掲げ、環境保全活動を積極的に推進していくことを表明した。</p>	<p><b>2005</b></p> <p><b>リチウムイオンバッテリー製品の発売</b> 業界に先駆けてプロ向けのリチウムイオンバッテリー工具第1号の充電式インパクトドライバ(TD130D)を発売。電動工具の小型軽量化、バッテリーの長寿命化によるランニングコストの低減などを実現した。</p>	<p><b>2022</b></p> <p><b>エンジン製品の生産を終了</b> 製品の充電化(脱エンジン・コードレス化)を加速させ、脱炭素社会の実現に貢献するため、エンジン製品の生産を終了した。</p>

# 事業内容 Makita's Description of Business

「人の暮らしと住まい作りに役立つ工具のグローバルサプライヤー」として、電動工具や園芸用機器をはじめ充電製品を中心に製品ラインアップを幅広く展開し、お客さまの多様なニーズに応えています。また、1つのバッテリーで数多くのマキタ製品に使用することができるため、バッテリーの高い互換性と豊富な製品ラインアップが大きな強みとなっています。



## 園芸

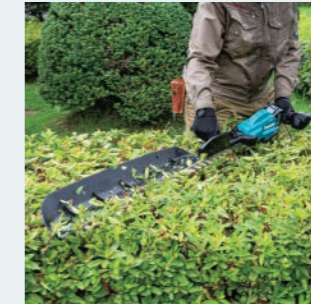
充電式スプリット草刈機

### 自然と共存し、より豊かな暮らしを

手軽なガーデニングからプロによるハードな作業まで、幅広い製品群が緑豊かな暮らしの空間づくりをサポートします。マキタは環境との調和を目指して、エンジン式に匹敵するパワーを有しながら「排ガスを出さない」「燃料を必要としない」「始動時の手間がない」「圧倒的に低騒音」を特長とする充電式園芸用機器の展開を積極的に進めています。



充電式芝刈機



充電式ヘッジトリマ



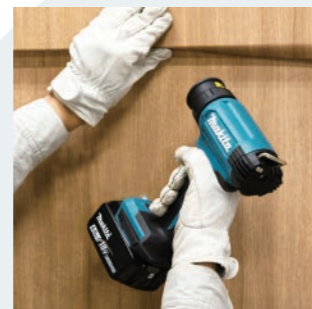
充電式草刈機

## 建築・建設

### 住まいづくりをダイレクトにサポート

住宅やビルの建築現場や工場などさまざまな場所で使用されます。マキタは1958年に国産初の携帯用電気カンナを発売して以来、穴あけ・締付け・切断・研磨などの作業を快適に行えるよう、独自の技術開発に取り組み、確かな技術力で豊富なラインアップを取りそろえています。

充電式  
インパクトドライバ



充電式ヒートガン



充電式コンクリートパイブレータ



充電式ピンタッカ



充電式パワーカッタ



充電式レシプロソー



充電式チップソーカッタ



充電式チェンソー(リヤハンドル仕様)



充電式チェンソー(トップハンドル仕様)



充電式高枝チェンソー

## 現場周辺 アウトドア 防災

現場で快適に作業ができる製品群を拡充しており、これらは現場だけでなく、アウトドアや災害時にもお役に立ちます。



充電式ケトル



充電式エアダスタ



充電式ランタン付ラジオ



チップソー



防護ジャケット

## アクセサリ

ロボットクリーナ



## 清掃

建築現場のみならずオフィスや店舗、倉庫の清掃などプロのニーズに応えるべく、機動性に優れた製品、吸引力と耐久性を高めた製品、騒音を抑えた製品など幅広く展開しています。



充電式背負クリーナ



充電式クリーナ



充電式アップライトクリーナ



エアコンプレッサ

高圧エア釘打

## エア工具



充電式  
保冷温庫

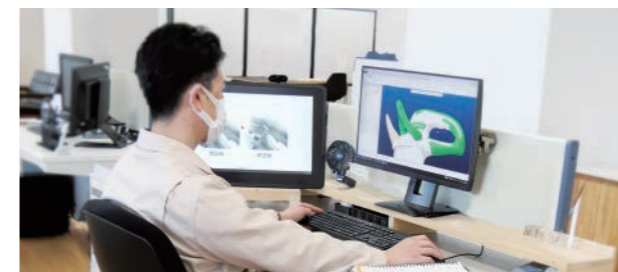
# 製品開発・品質保証



マキタは、国内外に広がる開発・生産・販売サービスの一貫したネットワークを通じて、世界のユーザーニーズを的確に捉えた製品を、高い品質と業界屈指のサービスと共にお届けし続けます。

## 業界屈指の製品開発力

プロ用電動工具にいち早くリチウムイオンバッテリーを採用し、これをシリーズ展開する業界屈指の製品開発力を誇っています。製品設計において、CAE解析などの先端技術を活用することで、長年にわたって蓄積された独自のノウハウをさらに強化し、信頼のブランドを築き上げています。また、機能だけにとどまらず、安全性やデザインの洗練性、ユーザーの作業環境および地球環境に配慮した製品設計を行っています。



## 設計から量産まで品質を保証する体制

設計から量産まで全てのプロセスにおいて品質を保証する体制を構築しています。開発ではデザインインを強化し、不具合が発生しないよう設計をしており、その後、法令・規格、機能、耐久性などさまざまな観点から評価を行い、お客さまが満足して製品を使用いただけることを確認しています。



## グローバルな生産体制

世界8カ国(日本、中国、ルーマニア、タイ、イギリス、ブラジル、アメリカ、ドイツ)に工場を構えており、生産台数の約9割を海外工場で生産しています。今後も地域の需要に応じてスピーディに製品の製造・供給を行うために、さらなる生産能力の増強に取り組んでまいります。



## 同一品質のものづくり

安定した品質の製品を効率よく生産するため、自社製ロボットの開発や工場間での量産ノウハウの展開・共有を行っています。生産現場での省人化を進めるとともに、誰でもどの国で作っても同一品質の製品となるようにものづくりを進化させています。



## 業界随一のサービス網

海外では約50カ国の直営の営業拠点を、国内では127カ所(2022年4月現在)の営業所を基盤に、顧客・地域に密着したきめ細かいサービスを提供しており、お客さまの作業効率・生産性向上に貢献しています。移動が制限されたコロナ禍においては、業界随一の販売・サービス拠点網を活かし地域のお客さまに迅速かつ安定的に製品・サービスをお届けすることで、豊かな街づくり・生活づくりに貢献しました。



## プロモーション活動

展示会やセミナー、実演イベント、ユーザー訪問などを通じた各種販売促進活動を国内外で積極的に行っています。また、海外では顧客向けITサービスの向上を目指して、利便性向上・業務効率化を目的とした販売店向け専門サイトの機能拡充などDXを推進しています。





## 社会課題の解決 Contribution to Solving Social Challenges



マキタは製品とサービスを通して、環境問題をはじめとした社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

環境にやさしく利便性が高い充電製品のラインアップ拡充を続け、充電製品の総合サプライヤーへの進化に取り組むとともに、世界各地においてきめ細かな販売・サービス拠点網を築くことで、製品や修理・物流といったサービスを迅速かつ安定的に提供する体制の強化を図り、脱炭素社会の実現および世界各地での作業現場の負荷低減に取り組めます。

### 脱炭素

エンジン製品から充電製品への置き換え



草刈機やチェーンソーなどの園芸用機器はエンジン式が主流ですが、パワーやスタミナに優れている反面、排ガスによる環境面への影響が大きな課題となっています。

この課題に対し、マキタは使用時の排ガスをゼロを特長とする充電製品への置き換え(脱エンジン)を推進することで、脱炭素社会の実現に貢献します。

さらに充電化により、エンジン製品の排ガスに含まれる大気汚染物質の排出がなくなることも、環境負荷低減に貢献できるポイントです。

充電製品の  
特長

- 環境負荷を低減
- 作業者の身体への負担軽減
- 作業現場周辺環境の改善に貢献
- 女性や高齢者の方でも扱いやすい

排ガス  
ゼロ\*

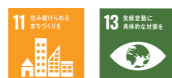
燃料  
ゼロ\*

始動の手間  
ゼロ

低騒音

※工具使用時

### コードレス製品への置き換え



電源コード付きのAC製品をコードレスの充電製品へ積極的に置き換えることで、人手不足という社会課題の解決に貢献しています。充電製品は、コードがないことによる作業効率の良さ・使いやすさといった利点に加え、電源コードへのつまずきといった現場での事故発生の予防に貢献します。さらに、電源確保が難しい場所でも使用することができるため、作業現場での作業効率・生産性向上に貢献し、ひいては快適な街づくりを支え、気候変動により多発する災害からの早期復興も後押しします。



### 災害への備え



災害時などの電源確保ができない環境下においても、充電式クリーナーなどで使用されるマキタのバッテリーで、ラジオやライトをはじめとした数多くの防災製品を利用することができます。また、専用のUSBアダプタを使用すれば、バッテリーからスマートフォンへの充電も可能であり、多発する災害時に安心を提供します。



### 世界各地での都市・インフラ構築



建築・建設現場などで使用される電動工具や園芸用機器の販売を通して、世界各地での都市・インフラ構築に貢献しています。

コロナ禍においては多くの地域でエッセンシャルビジネスとして、ロックダウン下であっても事業活動を認められたように、マキタの製品は豊かな街づくり・生活づくりに必要不可欠です。



### コロナ禍における貢献

各国において国境を跨ぐ移動制限が課された状況下であっても、きめ細かな販売・サービス拠点網を活かし、お客さまに迅速かつ安定的に製品・サービスをお届けすることで、各地域社会に貢献しました。また、コロナ禍で対面での活動が制限される中においても、販売店・代理店にマキタ製品の使用・メンテナンス方法や製品知識・修理のオンライントレーニングを行うことで、地域の困りごとに対応しました。



### 地域社会への取り組み

マキタはスポーツ・文化活動への協賛、災害支援など、それぞれの地域に密着した活動を通じ、社会と共に成長していくことを目指しています。タイでは従業員による地元の孤児院への物資寄付活動を、日本では職場体験の受け入れを行い、地域社会の子供たちの健やかな成長を応援しました。また、ポーランドではものづくりに対する関心を高めてもらうため、学生が参加する建築オリンピックを支援しました。



# 環境 Environment



マキタは、環境保全と事業の持続的成長との両立を目指し、環境マネジメント推進体制を構築し、環境へ配慮した企業活動を推進しています。1998年に「環境方針」を制定するなど、環境方針に掲げる理念と方針を基にこれまでも積極的に環境保全活動に取り組んできましたが、「脱炭素社会への貢献」および「循環型社会への貢献」を重要なテーマとして、より一層取り組みを強化していきます。環境に関する取り組みの詳細は、環境報告書をご覧ください。



2022年 環境報告書

## 脱炭素社会への貢献

マキタは脱炭素社会の実現に向けて、環境問題の解決に貢献する製品の開発に取り組むとともに、環境に配慮した事業活動を推進しています。また、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガス排出量削減に向けて、排出量の削減目標値を設定しています。

## 温室効果ガス排出量の削減目標

電気や燃料（ガス、ガソリンなど）の使用に伴う自社の事業活動での温室効果ガス排出量を2030年度までに2020年度比で50%削減し、2040年度までに実質ゼロにすること、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量を2050年度までに実質ゼロにすることを目標としています。

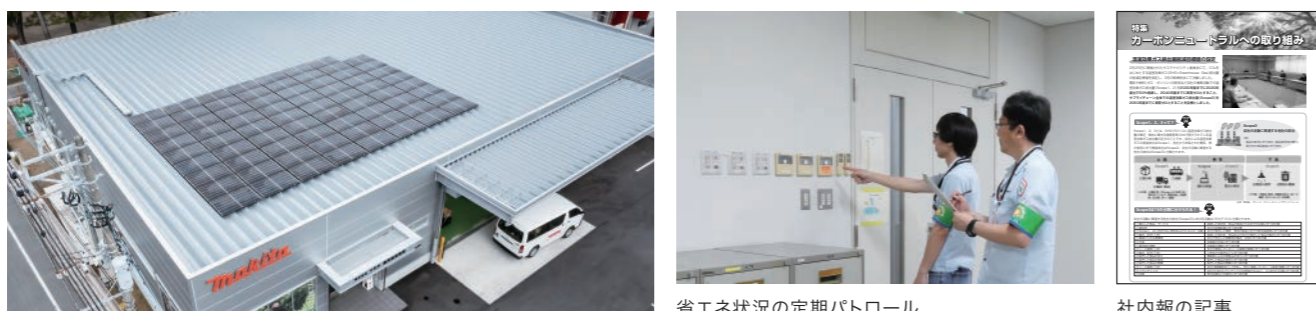
## 製品での取り組み

草刈機やチェンソーなどの園芸用機器はエンジン式が主流ですが、排ガスによる環境面への影響が大きな課題となっています。マキタは使用時の排ガスがゼロの充電式園芸用機器に注力し、エンジン式から充電式への置き換え（脱エンジン）を推進することで、脱炭素社会の実現に貢献しています。また、世界的な環境問題に対する意識の高まりや、利便性が高い充電製品に対するニーズの拡大といった状況を踏まえ、エンジン製品の生産を終了しました。



## 事業活動での取り組み

温室効果ガス排出量削減に向けて、省エネに貢献するLED照明、高効率機器（空調、コンプレッサ、生産設備等）の導入に加え、再生可能エネルギーの活用を推進するため、太陽光パネルの設置や地中熱を利用した冷暖房システムの導入などを進めています。また、従業員の環境意識向上を図るため、省エネ推進資料の配布、オフィスや工場の省エネ状況の定期的なパトロールなどを通じた啓発活動を実施しています。



省エネ状況の定期パトロール

社内報の記事

## 循環型社会への貢献

マキタは限りある資源の有効活用を進め、バッテリーのリサイクルや脱プラスチックの推進など循環型社会の実現に貢献しています。

## バッテリーのリサイクル

充電製品の総合サプライヤーとして数多くのバッテリーを供給するマキタにとって、環境保護と資源の有効活用のため、使用済みのバッテリーの回収は責務であると考えています。国内では、一般社団法人「JBRC」の会員として、「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、バッテリーの自主回収および再資源化活動に取り組んでいます。海外では各国の法令や制度等に合わせ、バッテリーの適切な回収を販売店や専門の機関と協力しながら行っており、多くの国・地域で回収のシステムを構築・運用することで、資源循環を進めています。



## 脱プラスチックの推進

海洋に流出したプラスチックごみにより地球規模での環境汚染が懸念されており、社会的にも使い捨てプラスチック削減の取り組みが進む中、マキタは持続可能な社会の実現および生物多様性の保全に貢献するため、「マキタ製品の包装に使用する使い捨てプラスチックの削減」に取り組んでいます。従来からの包装の簡素化の取り組みに加え、2020年度からは製品の包装に使用されるポリ袋などの削減に取り組んでおり、具体的には製品の梱包に使用する内材の工夫を通じたポリ袋の削減に加え、紙材やバイオマスポリ袋といった環境にやさしい素材への切り替えを進めています。



### 脱プラスチックの事例

ポリ袋入りグリップ

内材を工夫してポリ袋を削減

付属品の包装素材を紙材に変更

従来は製品の傷つき防止のため、部品をポリ袋に入れていましたが、内材を工夫し部品を固定することで、ポリ袋を削減しました。

ポリ袋から紙材やバイオマスポリ袋へ切り替えました。

# 従業員 Employees



関連するSDGs

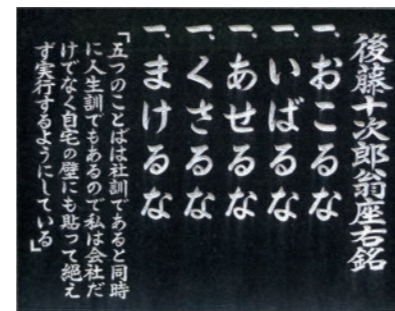


会社の成長を支えるのは、マキタで働く人財の力にほかなりません。マキタでは一人ひとりの従業員が最大限の力を発揮できる機会を提供しています。

## 人財育成

創業者の牧田茂三郎と共にマキタの礎を築き、「電動工具の企業」へとマキタを変貌させた後藤十次郎の人生訓でもある「おこるな・いばるな・あせるな・くさるな・まけるな」をベースとして、一人ひとりの従業員が、最大限の力を発揮できる機会を提供しています。

国内では、階層別に分けた研修制度のほか、工場実習研修などの各種研修や会社が一部費用を補助する通信教育の受講制度を備えています。また、若手従業員が海外現地拠点でのOJTを通じてスキルを積み海外業務研修をはじめ海外拠点への駐在機会を積極的に設けています。海外においても人財育成に努めており、生産拠点の中核である中国工場では、マネージャーに対してリーダーシップ向上や問題解決の研修などを行っております。



## ダイバーシティ&インクルージョンの推進

マキタは、年齢、性別、国籍、障害の有無などに捉われず、全ての従業員が互いに認め合い、個々の能力を最大限に発揮し、活躍できる企業であることが重要だと考えており、多様な人財が活躍できるよう取り組んでいます。また育児休業制度や育児短時間勤務制度など、働きやすい職場環境を整備しており、近年では男性の育児休業制度の利用も増加傾向にあります。



**女性の活躍**  
女性正社員の平均勤続年数は男性と同じ約17年であり、さまざまな部門で活躍しています。また、グループではマネージャークラスの女性が200名以上在籍しており、マキタのグローバルな事業基盤を支えています。

**外国籍社員の雇用**  
マキタグループ社員の約8割は海外における現地採用者です。また、外国人執行役員を登用するなど、外国籍の社員が活躍しています。日本でも人財の多様化を図り、留学生を採用しています。

**障がい者の雇用**  
2021年12月にマキタ農園を開設しました。農業を通して、就労意欲のある障がいを持つ従業員に各々の特性に合った働き方を支援することで、安心して活躍できる環境を提供しています。

# 会社概要 Corporate Data

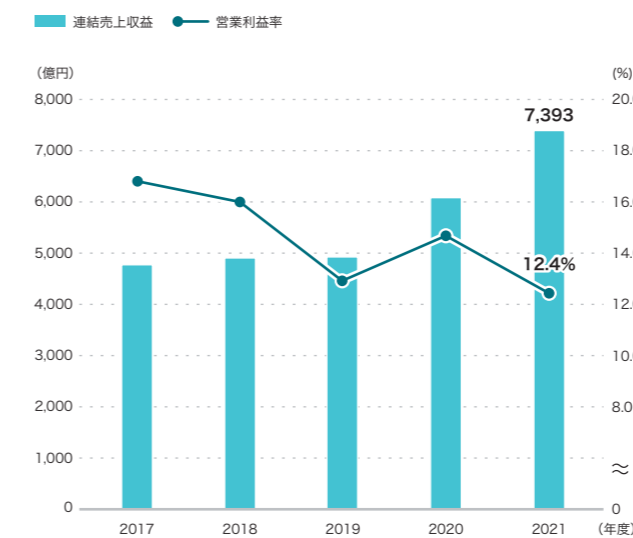


## データ

(2022年3月31日現在)

社名	株式会社マキタ	連結子会社	52社
本社所在地	〒446-8502 愛知県安城市住吉町3丁目11番8号 電話 (0566) 98-1711(代表)	主要な連結子会社	<b>販売子会社</b> マキタ U.S.A. Inc. マキタ(U.K.) Ltd. マキタ・ヴェルクツォイク GmbH(ドイツ) マキタ・フランス SAS マキタ Oy(フィンランド)  <b>生産販売子会社</b> 牧田(中国)有限公司  <b>生産子会社</b> 牧田(昆山)有限公司 マキタ EU S.R.L.(ルーマニア)  <b>開発子会社</b> マキタ・エンジニアリング・コリア Co.,Ltd.
URL	<a href="https://www.makita.co.jp/">https://www.makita.co.jp/</a>		
創業	1915年(大正4年)3月21日		
設立	1938年(昭和13年)12月10日		
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場 (2022年4月4日現在)		
代表取締役	取締役会長 後藤昌彦 取締役社長 後藤宗利		
資本金	242億561万円		
従業員数	20,233名		
事業内容	電動工具、園芸用機器、エア工具、 家庭用機器等の製造・販売		

## 連結売上収益・営業利益率



## 地域別売上収益

